

東北・紅葉の山旅・ヤジキタ道中

8期 篠島益夫

この山旅の参加者は8期の篠島、高水間、9期の山中の3名でした。

2015年10月12日～15日の3泊4日で実施した紅葉の山旅では荒天の為、肝心の栗駒山、秋田駒が岳は途中下山、八幡平も積雪通行止めで頂上付近の紅葉ウオークは断念という旅であった。

今年はそのリベンジとして10月5日～8日の3泊4日で山は栗駒山・秋田駒が岳・八幡平をプランした。

集合は5日仙台駅10時で、篠島・高水間は神戸から仙台行きのSKY空便、山中は東京から新幹線で集合。SKYは早い予約で神戸～仙台便は往復で@10000で済ませ、宿泊は山中さんがGOTOキャンペーン利用で2015年と変わらぬ予算でグレードは大幅アップで予約、地域クーポン券でお土産も調達、いろいろな工夫で使用金額は2015年のおよそ半額近くになった模様。

10月5日(月)

仙台集合後はレンタカーで平泉へ、以前の旅で見落としたメンバーもある中尊寺・金色堂・毛越寺を巡り、翌日の栗駒山登山基地の須川高原温泉に余裕で到着、温泉と夕食を堪能した。

今日のチェックインで確保したクーポン券は翌日中までしか使用できない決まりなので食後は売店で買い物、秋田名物の「いぶりがっこ」(たくわん)は瞬く間に棚が空になった。

就寝前の夜空は星が綺麗で安心していましたが夜中かなりの雨が降ったらしく、翌日はぬかるみ登山を余儀なくされた。



(10月5日平泉・毛越寺 山中・高水間 篠島撮)

10月6日(火)

温泉の湯が川となって流れる須川温泉登山口を8時30分に出発、始めは温泉の蒸し風呂に通うコンクリート道だが、これを過ぎると泥んこ道、沢を渡る個所も3ヶ所ほど出て来る。

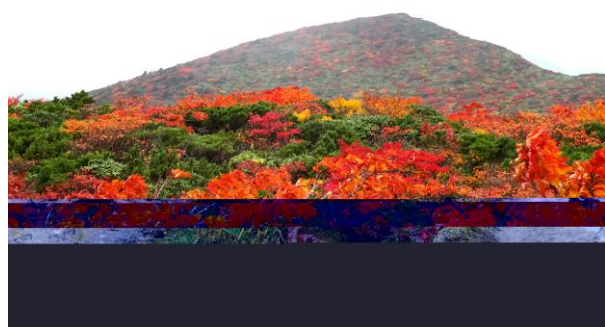
予定コースは2015年に雨の中を登った昭和湖を通る須川コースだったが登山道崩落の為、復路に予定の自然観察路コースを登った。

泥んこ道には悩まされたものの紅葉の眺めは錦を織りなす感じで美しい。栗駒は笹と大木が少なく、落葉灌木が主なので黄葉、紅葉、緑が斜面を覆い尽くして美しく見えるようだ。

コースは名残が原・苔花台と標高を上げて行くほどに黄葉・紅葉も鮮やかになる。



(10月6日栗駒苔花台 山中・高水間 篠島撮)



(10月6日 栗駒頂上と紅葉の展望 篠島撮)

頂上到着は11時25分でした。

6日は曇り後晴れの天候だが寒風が強くアノラック着用、頂上では濃いガスと寒風に吹かれて行動食だけで20分足らずで下山開始、直後からガスが晴れて素晴らしい紅葉の展望が続く。

下山開始は11時45分、泥んこ道は変わらないが、須川コースが崩落で通れないので往路と同じコースを下るが、晴れているので登り以上に良い

展望に感嘆しながら下った。

山地図での今日のコースのタイムは登り下り合わせて 245 分だが、我々は 360 分を要した。これはコースタイムの 1.47 倍のタイムで、今年はコロナがらみで山行機会も少なかったとはいえ、ちょっとショックな数字である。

今回の 3 人は同年生まれであり、ほぼ揃ったペースであったので、今後はコースタイムの 1.5 倍でのプランが妥当と言う事なのだろう。

10 月 7 日(水)

この日は予定では秋田駒が岳と八幡平頂上付近の紅葉の 2 ケ所とも登ろうという計画。

2015 年は八合目登山口までレンタカーで行ったものの、強い雨と風で登山を断念した。今回はうす曇りではあるが雨の心配は無さそう。

6 日宿泊の田沢湖高原温泉を 8 時過ぎに出て 8 合目登山口を 8 時 35 分に出発して高度をかせぐと途中ピークの片倉岳には 9 時 20 分に到着した。

登山道も昨日の栗駒とは違い火山灰質で快適であった。片倉岳を過ぎると急登部分は少なく、高原状の坂道を上り続けると最後は急登が待っていた。間もなく 9 時 50 分には男岳・男女岳分岐の阿弥陀池に着いた。

阿弥陀池から上部はガスっているので、展望は望めず最高ピークの男女岳だけを登頂する事とした。池を 9 時 55 分に出て男女岳頂上には 10 時 20 分に着いた。



(10 月 7 日 秋田駒が岳頂上 高水間 篠島撮)

ガスと風で寒いので写真だけ撮って急ぎ直下の阿弥陀池避難小屋に入った。かなり密な状態ではあったが、ここで軽食休憩する。

この日も小屋から下山を始めると晴れてきて展望も良くなり紅葉の山々が美しい。

栗駒とは違い山の斜面は笹が極めて多く、山を覆っているので、紅葉は栗駒のように錦の面にはならず、紅葉が点々見える感じである。



(10 月 7 日 片倉岳～阿弥陀池高原 篠島撮)

阿弥陀池小屋を 11 時 5 分に出発、当初計画の下山道を避けて往路と同じ道で紅葉の展望を愉しみながら下山、12 時 20 分には 8 合目登山口に着いた。

この山でも往復の山地図のコースタイム 155 分のところ 225 分を要した。これはコースタイムの 1.45 倍で前日の栗駒山とはほぼ同じであった。

この日は八幡平頂上のウォーキングも予定していたので 8 合目駐車場から八幡平頂上駐車場に向かったのであるが、R341 のこの辺りには GS が無いことが解り、八幡平との分岐を越えて北の鹿角市まで給油に出かけて、ここから U ターンして再び八幡平に向かう事になりロスタイム 50 分、この為、八幡平の頂上駐車場に到着した頃には、それまで晴れていたという山頂部はガス、止む無く頂上での記念写真だけで、宿泊予定の新玉川温泉に向かった。

既に日は暮れており、使い慣れないカーナビと R341 の改修事故に伴う点滅信号による錯誤が重なって目的地の新玉川温泉の入口を通り過ぎてしまった。

気が付いて U ターンして戻るも本来の所要時間の倍の 2 時間もかかって通り過ぎた新玉川温泉に到着する、というハプニングというかボケというか、この日は GS とカーナビ、道路工事がらみで車での移動時間は合計 2 時間近いロスでした。

宿泊の新玉川温泉には 19 時 55 分着という有様でした。今までの車での山旅でもこんな事例は少なかっただけに 3 人ともショックで夕食も意気が上がりませんでした。



(10月7日 八幡平頂上 山中撮)

10月8日(木)

この日は秋田県の新玉川温泉から東北道に出て仙台へというこの旅の行程では最も長い車で移動ですが、昨日のボケもあるので慎重に交代運転、松島には昼過ぎに着いて地元の美味しい寿司屋で昼食、松島展望台や伊達家の瑞巖寺をゆっくり見て仙台市内の青葉城址へ、その後は早めにレンタカーを返して仙台駅で今日まで有効というクーポン券でお土産を調達、たっぷりお土産が出来ました。

この仙台駅で仙台空港へ向かう二人と友人と待ち合わせする山中さんの2組に分れて解散。

この日は新玉川温泉出発以降、万事問題なくそれぞれ予定の帰路につきました。



(10月8日 仙台市青葉城公園 山中撮)

山での脚力ダウンの現実に加えて山旅3日目のGSとカーナビが絡んだボケ事件は、3人にとって

は今後の生活に関わる現実を知る良い機会だったのかもしれない。

オツムの劣化は3人とも激しく、母校の名誉の為、「金大卒」は今後は世間では言わないようにしよう、という貴重な意見も聞こえていました。

終わり

